

ジョルダン ビジネスレポート

2024.10.1 ▶▶ 2025.9.30



JORUDAN

黒字化は持続的成長に向けての第一歩

既存事業の強化と未来への成長投資を加速していきます

広告はコロナ前の水準を回復、利益も全段階で黒字化を実現

2025年9月期の連結業績は、売上高では広告収入がコロナ前の水準まで回復する一方、法人向け事業が減収となり、全体として前期比微減となりました。利益面では、営業利益段階で法人向け事業における売上原価減少や連結子会社が外れたことによる販管費減少の影響などから前期比2億円増、経常利益段階では助成金収入の増加、為替差益の発生などもあり同4億円増と大きく改善しています。また最終利益についても、特別利益の減少があったものの経常損益の改善や法人税等の減少の影響などから前期比4億円弱のプラスとなり、全て黒字転換での着地となりました。

この黒字化は、今後の成長に向けた、確かな土台ができたことを意味します。この流れを止めず、既存事業の強化と、未来への投資を加速していきます。

「乗換案内」の一層の機能強化を推進

「乗換案内」は月間検索回数が2億4,000万回と高いレベルを維持するなど、強い商材として一定のポジションを確保できていると考えています。従来の公共交通に加えタクシー・AIデマンドバスなど多様な移動手段に対応する「マルチモーダル化」の推進、交通機関との連携により経路検索画面からの予約を可能とする「予約連携」の強化、さらに地域の情報をワンストップでカバーする「スマートシティモード」の拡大など、継続的な機能強化により利便性向上を図る取り組みを進めています。

特に西新宿の賑わい創出や回遊促進を目的とした実証実験からスタートした「スマートシティモード」は、地域特化型の情報提供サービスとして、周遊観光の促進を図りたい地域から好評をいただいています。当期は静岡県沼津市・長野県安曇野市・東京都八丈島の3地域を新たに追加し、さらなる拡大に向けて活動しているところです。

また、モバイルチケットでは、これまでの海外提携先との関係を解消し、今後は当社の独自サービスとして展開していくこととしました。前期には沖縄のゆいレールの自動改札機に当社のモバイルチケットを読み取る構造を入れ、連携を図りました。これが評判を呼んでいますので、改札機連携をさらに広げたいと思っています。

モバイルチケット事業は、当社にとってまだ投資の領域ですが、これを単なるチケットではなく、町歩き全体を楽しくする道具にまで持っていきたいと思っています。電車に乗れて、お昼が楽しめて、観光スポットにも立ち寄れる、そのような街の周遊ができるチケットにして、様々なデータを収集しながら収益性の拡大につなげていければと考えています。

旅費・通勤費ソリューションの拡販に向け法人営業を強化

新しい収益の柱として、法人向けのソリューションも強化しています。当期はAIに旅費規程を読み込ませ、チャット形式で出張計画・旅費精算をサポートする「AI旅費精算」を発表しました。ハルシネーション（AIによる誤情報の生成）の問題など、解決すべき課題はありますが、多くのお客様に興味を持っていただいています。また、当社の「定期代精算」システムは、バス対応数が業界最大（当社調べ）ですので、そこをしっかりと訴えて販路開拓を進めていきたいと思っています。

また、当社のクラウドサービス「JorudanStyle」を用いた顔認証を含む乗車システムが、沖縄・中城村のコミュニティバス「護佐丸バス」に導入されました。「顔パス」で乗車できると地元で好評をいただいています。当社は2024年に山万ユーカーが丘線にて顔認証乗車システムの国内初の本格運用を果たし、この実績をベースに全国の交通機関に提案を行ってきました。引き続き顔認証を含む乗車システムを各地に推進し、『移動』における一層の利便性向上を目指します。

乗換案内・MaaS事業で培った技術・ノウハウを強みに新事業にも挑戦

すでにスタートしている2026年9月期については、足下の受注状況が好調に推移していること、今後は移動需要の増加、MaaS関連の事業拡大が見込まれることなどから、売上高・営業利益ともに増加を計画しています。また「乗換案内」で培った技術などの資源を活用し、株式会社ジェイ・キャストと共同で定期刊行物課金のネット販売プラットフォーム「J-STAND（ジェイスタンド）」のサービス開始に向け取り組みを進めています。

当社としては、引き続き「乗換案内」の進化・深化を進めるとともに、蓄積した技術・ノウハウを活用する形で新事業・新領域へも果敢に挑戦していきたいと考えています。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務諸表ダイジェスト

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 2024年9月30日	当連結会計年度 2025年9月30日
資産の部		
流動資産	3,776,704	4,044,054
固定資産	1,519,748	1,458,407
資産合計	5,296,453	5,502,462
負債の部		
流動負債	849,642	896,628
固定負債	24,024	2,948
負債合計	873,667	899,576
純資産の部		
純資産合計	4,422,786	4,602,885
負債・純資産合計	5,296,453	5,502,462

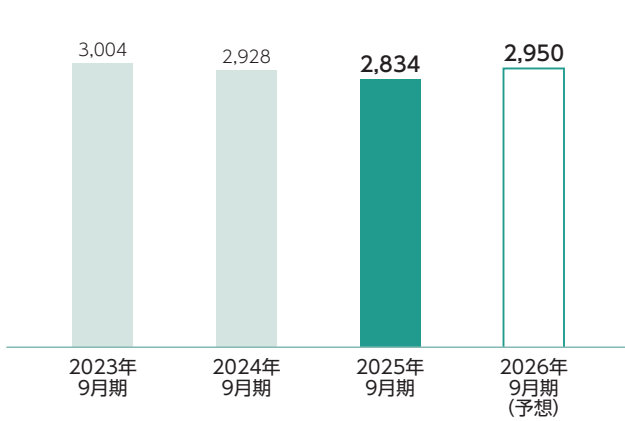
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 自 2023年10月1日 至 2024年9月30日	当連結会計年度 自 2024年10月1日 至 2025年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	29,363	322,270
投資活動による キャッシュ・フロー	△164,877	△82,942
財務活動による キャッシュ・フロー	△107,039	△40,520
現金及び現金同等物の 期末残高	2,967,251	3,222,306

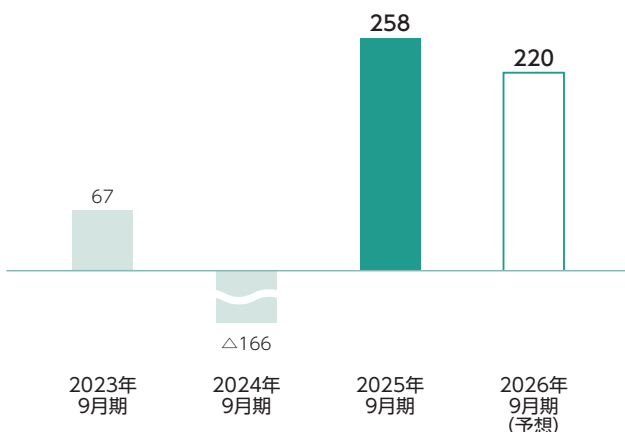
売上高

(単位：百万円)



経常利益

(単位：百万円)



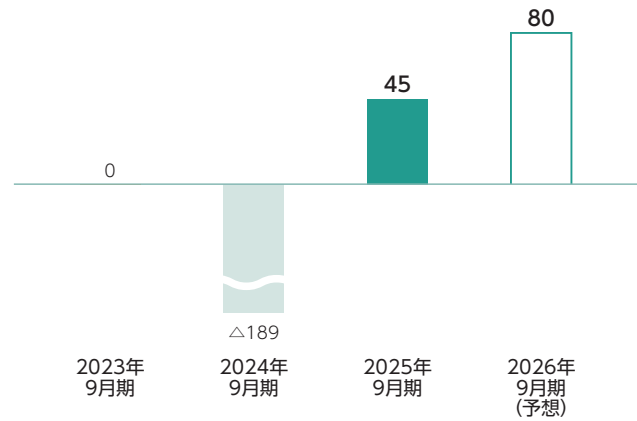
連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 自 2023年10月1日 至 2024年9月30日	当連結会計年度 自 2024年10月1日 至 2025年9月30日
売上高	2,928,239	2,834,256
売上原価	1,748,689	1,575,568
売上総利益	1,179,549	1,258,688
販売費及び一般管理費	1,369,222	1,213,029
営業利益又は営業損失(△)	△189,672	45,658
営業外収益	97,268	222,281
営業外費用	73,904	9,694
経常利益又は経常損失(△)	△166,309	258,244
特別利益	121,013	82,437
特別損失	8,368	31,069
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△53,665	309,612
法人税等合計	65,331	46,825
当期純利益又は当期純損失(△)	△118,996	262,787
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△457	1,051
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△118,539	261,735

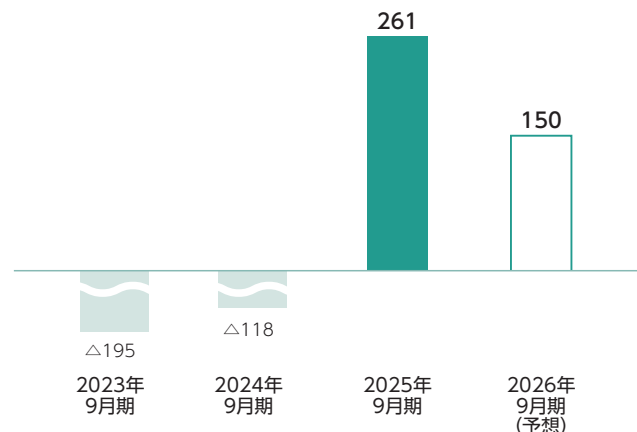
営業利益

(単位：百万円)



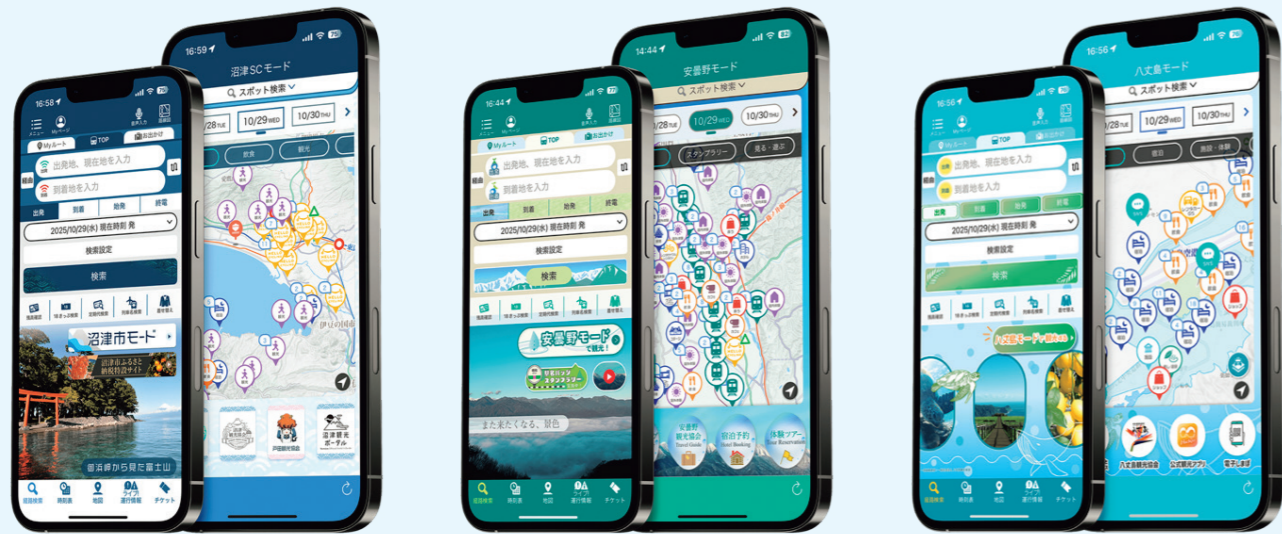
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



スマートシティモードに沼津市、安曇野、八丈島の各モードが登場

当社が「乗換案内」アプリ内で提供している地域特化型情報提供インターフェース「スマートシティモード」に新たに「沼津市モード」「安曇野モード」「八丈島モード」が加わりました。それぞれ、地域の飲食・観光・宿泊・交通などの情報が地図上で確認できるほか、バス、タクシー、AIデマンド交通など、複数の移動手段を組み合わせた経路検索が可能です。「沼津市モード」では駐車場満空情報も提供し、観光客と市民双方の利便性向上を目指しています。「安曇野モード」は、安曇野市のあらゆる情報と二次交通を1つに集約し、周遊観光の促進や観光DXに取り組んでいます。「八丈島モード」は、島全体を1つのエリアモードとして設定し、観光と移動をサポートしています。



「ジャングリア エクスプレス」に予約在庫管理サービス「ReservNation」を提供

那覇市内から「ジャングリア沖縄」への直行シャトルバス「ジャングリア エクスプレス」(沖縄運行便)の予約受付に、当社の予約在庫管理サービス「ReservNation (リザーブネーション)※」を提供しました。これにより、旅行者は「ジャングリア エクスプレス」をオンラインで事前予約・購入でき、事業者は24時間リアルタイムで席数や予約の管理ができます。当社は今後も交通・観光分野におけるデジタル化を推進していきます。

※ReservNation: クラウド型の予約・在庫管理サービスで、予約受付・決済・在庫管理・顧客管理を一元化できるのが特長。鉄道・バス・観光施設など多岐にわたる業態で導入中



定期刊行物課金のネット販売プラットフォーム「J-STAND」を発表

当社は、株式会社ジェイ・キャストと共同で開発中の定期刊行物課金のネット販売プラットフォーム「J-STAND」を発表しました。「J-STAND」は、新聞社や出版社などのメディアが記事をコンパクトなパッケージに編集して少額で販売できるサービスで、スマホ視聴に最適化した縦スクロールで読める仕様になっています。当社は、正確・安全・迅速な「乗換案内」を提供してきた経験を活かして、メディア事業でも「信頼できる情報」を届けていきます。



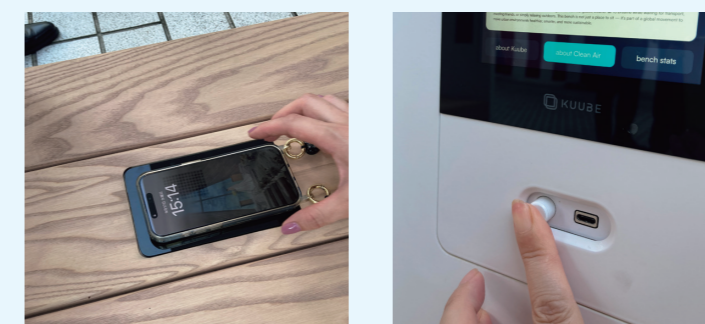
モバイルチケット取扱事業者数が増加 決済手段に「AEON Pay」が加わる

2019年からスタートした「ジョルダンモバイルチケット」は、「乗換案内」アプリからキャッシュレスで購入し、そのままスマートフォンで使えるチケットです。9月末時点のチケット取扱事業者数は95事業者となり、昨年から大きく増加しました。新たに銚子電鉄、長良川鉄道、両備バス、小豆島オーリーブバス、サンデン交通などが加わりました。また、高知県観光コンベンション協会の「MY遊バス」チケットや千葉市の「チバノサト1日周遊きっぷ」など自治体・観光協会と連携したフリー乗車券、周遊券なども販売しています。さらに、8月には決済手段に要望の高かった「AEON Pay」を追加しました。多彩な決済手段を揃え、利用者の利便性向上を図るとともに、各地の交通機関と連携し、地域の移動と暮らしに貢献していきます。



KUUBE社のスマートベンチを都民広場に設置

当社が日本国内での販売代理店契約を結ぶKUUBE社のスマートベンチが、東京都都民広場に設置されました。太陽光パネル、充電用USBポート、ワイヤレス充電器、Wi-Fi機能、ディスプレイを搭載し、災害時には充電ステーションやWi-Fiスポットとしての活用が期待されています。当社は今後も公共施設への導入を進めていきます。



福島県白河市と包括連携協定を締結

福島県白河市と地域活性化及び住民サービスの向上を目的とした包括連携協定を締結しました。当社のICT、クラウド、コンテンツサービスを活用し、地域DX、公共交通、産業振興、高齢福祉・健康増進、デジタル人材の育成等について白河市と協力して取り組んでいきます。当社は様々な技術とこれまでに培ったノウハウで、地方創生、地域活性化、住民サービスの向上を目指していきます。



「乗換案内」のご紹介



「ジョルダン」
<https://www.jorudan.co.jp/>



「乗換案内」(アプリ) ※ダウンロード無料



アプリ内課金 (税込)

1ヶ月 (自動更新) : 360円
90日 : 1,000円
365日 : 3,780円

公式SNSアカウントのご紹介

乗換案内の機能紹介、開発裏話などの記事を掲載



https://note.com/jorudan_web/



乗換案内の最新情報、お知らせなどを発信!



@norikae_app

https://x.com/norikae_app



会社概要 (2025年9月30日現在)

商号 ジョルダン株式会社
(Jorudan Co.,Ltd.)
本社所在地 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-5-10
設立 1979年12月
資本金 2億7,737万5,000円
従業員数 連結178名、単体141名

主要な子会社 (2025年9月30日現在)

コンパスティビー株式会社

事業内容: 広告代理業

ゼストプロ株式会社

事業内容: システム・ソフトウェアの設計・開発

株式会社ジェイフロンティア

事業内容: システム・ソフトウェアの設計・開発

J MaaS株式会社

事業内容: ICTを活用した移動手段の手配・販売・提供サービス

若尔丹 (上海) 軟件開發有限公司

事業内容: システム・ソフトウェアの設計・開発

杰昱 (上海) 信息技術有限公司

事業内容: ハードウェアの販売・保守

株主優待のご案内 乗換案内PREMIUM (株主優待版)

対象になる株主様は?

・9月末と3月末に当社株式100株以上お持ちの方

いつ届くの? いつから使えるの?

・12月末お届け (翌年1月1日~6月30日の間有効)
・6月末お届け (7月1日~12月31日の間有効)

どんな機能が使えるの?

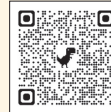
・PCで無料版にはない多彩な経路検索
・スマートフォン向け有料サービスも利用可能

株主様アンケートご協力をお願い

今後の事業活動の参考にさせていただくため、アンケートへのご協力をお願いいたします。下記の二次元コードからアクセスしてご回答ください。WEBアンケートに回答いただく場合は、同封のアンケートはがきの返送は不要です。

回答期限

2026年3月31日



株式状況 (2025年9月30日現在)

発行可能株式総数…………… 19,000,000株
発行済株式総数…………… 5,255,000株
株主数…………… 5,921名

株主メモ

- 事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで
- 定時株主総会 毎年12月
- 基準日 毎年9月30日
- 配当金受領株主確定日 9月30日及び中間配当を実施する場合は3月31日
- 公告方法 電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <https://www.jorudan.co.jp/ir/>
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

